

3 明治8年10月28日 菊池長閑

第二号十月廿八日

第三号九月七日附本月廿三日相達^{四十七日也}八月六日桑港発車十一日振にて同十七日ホストン府へ安着之趣先以安心大慶致候此度ハ陸行故船中ハは格別心易事と察候処按外^{つひ}苦勞も有之鼻血之患も有之由察入候着後別条無之成床敷候路上之様子を察するに其記処見学之十分一ニも足間敷候得共親敷見る心地にて大ニ記行を樂ミ居候七階之旅亭を始セントルハーク杯夢にても見まほしく候勿論ロッキーマウンテン之風景猶更之事ニ候老たる我等さへ浦山敷況や壮者ニ於をや青木良平杯ハ海路之記行^{つひ}曙新聞ニあるを聞見るさへ快からすとて羨居候趣尤之事ニ候汽車之苦勞は察入候得共また処々之風景奇石珍樹等之見聞にて暫時ハ忘れ候事も有之候半と考居候

ホストンニ行ハ文部省之差図欵又は自分之見込有之なる欵何運ニしても修業ニ益可有之承度候

其地当節之氣候如何ニ候哉此許は本月十八九日嚴霜にて稻も大ニ古枯^計最中ニ相成候昨今少敷快晴准しく暖氣も有之五十五六度前後^{寒暖}朝夕火桶を引寄する程ニ候当地此節こま廻し竹馬なと有之候こま廻しハ先年来竹沢之子共と申事ニ先ツ火事もなく静謐ニ候

金物并自用之紙類注文致承知候然に金物ハ遣用見込も可有之員数於今も不申越只少々と計にて那珂にてハ考可有之哉於此方ハ更々考も不付当惑之次第ニ候由越ノ俣那珂ハ頼遣にも全く程合も不分氣之毒ニ候得共島山氏出帆之頃合も不知候得者問合申遣往復之間ニ右幸便取少しては不都合と存那珂も当惑候半と存候得共申越まで頼遣候実ニ不用弁之申越方存意之程分り兼候右等之事ニ不心付ニも有之間敷如何之心得ニ候哉片便四十日余も懸り問合も不早俄取加之不調之為メ無駄ニ往復之問合之入費互ニ費以之外之事ニ候此度者氣之毒なから那珂ハ頼遣候間免角取計呉候半爾後右様不用弁之申越方有之ては取計兼候間左様心得不都合無之様急度可心懸候

写真十二枚中ニハ不出来も有之候得共此度那珂まで頼遣置候逐日冷氣ニ赴候得は次第不出来のあれ能ハ出来兼候来春ニ成候ハ取直可遣唯無事を報知ノ証までニ候外人ニ為見候義外分ニ有之候家内妹外親族とも無事消光ニ候折角養生之上写真差送候様頼入候以上

武夫殿

長閑

(封筒裏)

「亞米利加マサチュセッツ州ボストン府

セントルストリート六番地

菊池 武夫 殿

至急要用

(封筒裏)

「日本陸中国岩手県下

第一大区五小区加賀野
八十六番地

菊池長閑

平安

┌